

茅ヶ崎市美術館による情報漏えいの可能性について

茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団（以下「財団」という。）では、茅ヶ崎市より指定管理を受け、茅ヶ崎市美術館を運営しています。このたび、財団職員が個人で利用していたウェブメール内のアドレス帳より個人情報（メールアドレス）が流出した可能性があることが、10月28日に判明しました。

現在、対象アカウントのセキュリティ設定を見直したうえで、拡散防止のため財団内の各パソコンはインターネット接続を切断しました。関係者への謝罪を行うとともに、引き続き影響等について調査を行ってまいります。

- 1 判明日時 平成27年10月28日（水） 9時40分
- 2 対象端末 公益財団法人 茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団 職員
- 3 原因 財団職員が、知人を装ったメールに対して、結果として情報共有サービスの使用許可手続きを行ったため、個人で利用していたウェブメール内に登録されたアドレスを共有してしまった。

4 経緯

10月23日・26日

- ・美術館職員の職場パソコン宛に関係者を装ったフォローリクエスト(招待)及び新着メッセージ受信のメールが届く。

27日

- ・本人からのものと思い、メールを開封する。個人で利用していたウェブメールアカウントのログイン画面に似た画面に切り替わり、個人アドレスと暗証番号を入力した。

28日

- ・財団職員（5人）に、当該職員を装ったアドレスからメールが届く。当該職員に前日に届いた内容と同じであることが判明し、当該職員のパソコンのLANケーブルを抜く。

- ・セキュリティソフトでウイルススキャンを行ったが、ウイルス検出がなかったため、パソコンは安全と判断し、LANケーブルの接続を継続した。

- ・財団ホームページ制作及びサーバーの保守管理を委託する業者に電話で状況を報告し指示を仰いだ。

- ・当該職員より電話で茅ヶ崎市文化生涯学習課職員に、同様のメールが届いていないか確認を行ったが届いていなかった。

- ・当該職員のパソコンに登録されていた約200件の対象者に対して、迷惑メールの誤送信の可能性及び開封禁止・謝罪等を記した注意喚起のメールを配信した。

31日

- ・財団文化事業課長より当該職員の端末がウイルスに感染した可能性があるため、茅ヶ崎市文化生涯学習課課長補佐に口頭で報告した。ウイルスについて特定ができていないことや、その後メールのやりとりをしていることから、市役所への感染がないかどうか調べるため、茅ヶ崎市情報推進課と情報共有し、至急対応をすることとなった。

- ・茅ヶ崎市文化生涯学習課及び美術館以外の財団の管理施設（文化会館、体育館）のLANネットワークの接続を切り、個別に端末のウイルスチェックを行ったが検出はなかった。

- ・当該職員が個人で利用していたウェブメールアカウントのセキュリティ設定を見直し、対象者約180件に対して、迷惑メールの誤送信の可能性及び開封禁止・謝罪等を記した注意喚起のメールを配信した。

- 11月1日
- ・個人情報流出に関する情報及びすべてのパソコンのLANネットワークの接続禁止を財団の管理施設へ改めて文書で通達した。
- 2日
- ・茅ヶ崎市文化生涯学習課と茅ヶ崎市情報推進課の職員によるヒアリング及び現状確認が行われた。現在、今後想定される実害や対応について、保守を依頼している業者等へ確認を行っており、IPA（※）よりネットワーク経由のウィルス被害ではない旨報告があった。

5 今後の対応

美術館の各パソコンはインターネット接続を切断し(拡散防止の対応を行うとともに)、個人で利用をしていたウェブメールのアドレス帳記載対象者に注意喚起と謝罪を行っております。また、個人メールアドレスに関するブラウザからのアクセスの許可について削除しました。

今後は、市と連絡を取りながら拡散を防止するとともに、引き続き影響等について調査を行ってまいります。

※IPA : Information Technology Promotion Agency, Japan 情報処理推進機構